

《到達目標》

- (1) 具体的な操作などの活動を通して、数の概念や表し方について理解し、簡単な場合について、加法及び減法を用いることができるようにする。
- (2) 具体的な操作などの活動を通して、量の概念や測定についての理解の基礎となる経験を豊かにする。
- (3) 具体的な操作などの活動を通して、図形や空間についての理解の基礎となる経験を豊かにする。

学習計画 (総授業時間数 136時間)

学期	単 元	学 習 内 容
前 期	もりにいこう 10までのかず	・1～5まで ・6～10まで ・大小・系列
	いくつといくつ	・5～10までの数の合成・分解
	なんばんめ	・順番数と集合数の関係
	たしざん(1)	・あわせていくつ ・ふえるといくつ ・たしざんかあど ・0のたしざん ・たしざんのえほん・ちからだめし
	ひきざん(1)	・のこりはいくつ ・ひきざんかあど ・0のひきざん ・ちがいはいくつ ・ひきざんのえほん・ちからだめし
	おさらい	・おさらい
	かたち	・かたちあそびをしよう ・かたちをうつしとろう
	10よりおおきいかず	・20までのかず ・20よりおおきいかず ・ちからだめし
	〇とけい	・なんじ、なんじはん、なんじなんぶん
後 期	かずをさがそう	・身の回りから、2つずつ3つずつ4つずつのものをさがす。
	たしざん(2)	・くりあがりのあるたしざん ・カードれんしゅう ・ちからだめし・たしざんすごろく
	ひきざん(2)	・くりさがりのあるひきざん ・カードれんしゅう ・ちからだめし・すうじのかくれんぼ
	たすのかなひくのかな	・演算決定 ・3口の加減
	かずしらべ	・しらべたかずをえやグラフにあらわす。
	おさらい	・2がっきのふくしゅう
	ながさくらべ	・ながさくらべ・ちからだめし
	〇おおきさくらべ	・かさ、ひろさ
	おおきなかず	・100までのかず ・ちからだめし ・こうえんで
	〇どちらがおおきいかな	・100より大きいかず
	〇たしざんとひきざん	・たしざんとひきざん
	1年のまとめ	・かず ・かず・ながさ ・けいさん
	びったり10にしよう	・加法の習熟
びったり0にしよう	・減法の習熟	

《評価の観点》

《算数への関心・意欲・態度》

数量や図形に親しみをもち、それらについて様々な経験をもととする。

《考え方》

算数的活動を通して、数理的な処理に親しむ。

《表現処理》

算数の計算が確実にでき、それらを用いるとともに、ものの大きさを比較したり、身近な立体を観察したり構成したりする。

《知識・理解》

数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の意味と表し方及び整数の計算の意味を理解し、量や図形についての理解の基礎となる経験を重ねている。



《評価の方法》

- ・活動の様子の観察、発表、ノート、プリント、テストなど。
- ・自己評価、相互評価など。

学習方法 (授業の工夫・家庭学習)

- 学習プリントや計算ドリルを使って、内容の定着を図ります。
- 授業の中で、必ず計算に取り組む時間を設けます。
- ブロックなどの具体的な算数的操作活動をさせながら理解を深めるようにします。
- 家庭学習では、計算に取り組みます。

《到達目標》

- (1) 具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにする。数の意味や表し方について理解を深めるとともに、加法及び減法の意味について理解を深め、用いることができるようにする。また、乗法の意味を理解し、その計算の仕方を考え、用いることができるようにする。
- (2) 具体物を用いた活動などを通して、長さの単位や測定についての理解できるようにし、量の大きさについての感覚を豊かにする。
- (3) 具体物を用いた活動などを通して、図形についての理解の基礎となる経験を一層重ね、図形についての感覚を豊かにする。

学習計画（総授業時間数 175時間）

学期	単 元	学 習 内 容
前 期	ひょうとグラフ	・ひょうとグラフ・まとあてゲーム
	1000までの数	・100より大きい数 ・たし算とひき算・どちらが大きいかな・記号
	たし算のひっ算	・2けたのたし算 ・答えが3けたになるたし算 ・たし算のきまり
	ひき算のひっ算	・2けたのひき算 ・100より大きい数からひくひき算 ・たし算とひき算のかんけい ・むしくい算・ふしぎなひき算・同じ答えのひき算 ・簡単な（3位数）±（3位数）の計算
	いろいろな形	・平面図形・色板・色棒・点つなぎ
	時間と時刻	・1日の時間、午前・午後、 ・簡単な時間や時刻を求める
	たし算とひき算（1）	・たし算とひき算のつかい方
	長さ（1）	・くらべかた、長さのあらわしかた、たし算とひき算・線でもようづくり・形のまわりの長さ
	かさ	・かさの測定・くらべかた・単位
	かけ算（1）	・かけ算・かけ算のしきであらわそう
後 期	かけ算（2）	・2、5、3、4のだんの九九 ・カードあそび
	かけ算（3）	・6、7、8、9、1のだんの九九 ・どんな計算になるのかな ・かけ算のもんだいづくり ・ざせきのとりかた
	かけ算（4）	・かけ算の九九の表・かけ算ゲーム ・九九もようづくり・何をしていますか ・3×12の答えを見つけよう
	長さ（2）	・メートル・長さの計算・長いものさし・たからのはこにいけるかな
	1000より大きい数	・1000より大きい数・大きさくらべゲーム ・この日何の日・お金の計算
	三角形と四角形	・直線・三角形と四角形・点をつないで絵をかこう・おってきって
	正方形・長方形・直角三角形	・直角 ・長方形、正方形、直角三角形の意味、性質書き方
	分数	・簡単な分数
	たし算とひき算（2）	・たし算とひき算のつかいかた
	はこの形	・箱作り ・箱の形の構成要素（面、辺、頂点）
	2ねんのまとめ	・数と計算・長さ・図形

《評価の観点》

《算数への関心・意欲・態度》

数量や図形に親しみをもち、それらについて様々な経験をもととするとともに、知識や技能などを進んで用いようとする。

《考え方》

算数的活動を通して、数理的な処理に親しむ。

《表現・処理》

整数の計算が確実にでき、それを用いるとともに、ものの大きさを測定したり、ものの形を観察したり構成したりする。

《知識・理解》

数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の意味と表し方、整数の計算の意味及び量の単位と測定の意味を理解し、図形についての理解基礎となる経験を重ねている。

《評価の方法》

- ・活動の様子を観察、発表、ノート、プリント、テストなど
- ・自己評価、相互評価など。

学習方法（授業の工夫・家庭学習）

- 学習プリントや計算ドリルを使って、内容の定着を図ります。
- ステップアップタイムで、繰り返しドリル学習を行います。
- ブロックなどの具体的な算数的操作活動をさせながら理解を深めるようにします。
- 見やすい、分かりやすいノートづくりについても適宜指導をしていきます。
- 家庭では、かけ算九九を唱えられるように繰り返し学習するようにお願いします。

《到達目標》

- (1) 加法および減法を適切に用いることができるようにするとともに、乗法についての理解を深め、適切に用いることができるようにする。また、除法の意味について理解し、その計算の仕方を考え、用いることができるようにする。さらに、小数及び分数の意味や表し方について理解できるようにする。
- (2) 長さ、重さ及び時間の単位と測定について理解できるようにする。
- (3) 図形を構成する要素に着目して、二等辺三角形や正三角形などの図形について理解できるようにする。
- (4) 数量やその関係を言葉、数、式、図、表、グラフなどに表したり読み取ったりすることができるようにする。

学習計画 (総授業時間数 175時間)

学期	単元	学習内容
前期	たし算とひき算	・3けたのたし算とひき算の計算 (筆算) ・加減の演算決定 ・計算の工夫
	4けたのたし算とひき算	・4けたのたし算とひき算の計算 (筆算)
	かけ算	・かけ算のきまり ・0のかけ算 ・10のかけ算 ・何十、何百のかけ算
	かけ算の筆算	・(2位数) × (1位数) の計算 (筆算) ・(3位数) × (1位数) の計算 (筆算) ・(2位数) × (1位数) の暗算
	時間と時こく	・時間と時刻の概念、単位 ・1日の時間 ・短い時間
	表とグラフ	・表 ・棒グラフ ・二次元表の見方
	長さ	・はかり方 ・道のりと距離の違い ・キロメートル
	かさ	・かさくらべ ・l・dl・mlの読み方、書き方とその関係
	わり算	・等分除・包含除の意味 ・1や0のわり算 ・除法と乗法の関係、答えの見つけ方
	円と球	・円と球の定義 ・中心・半径・直径の性質 ・コンパスの使い方
後期	形	・辺と頂点 ・直角の意味 ・長方形と正方形 ・直角三角形
	大きな数	・万の位の数の読み方・書き方 ・大きな数の仕組み ・10倍、100倍の数と、10でわった数
	三角形	・図形の角 ・二等辺三角形と正三角形の定義 ・二等辺三角形と正三角形の角の性質
	あまりのあるわり算	・あまりのあるわり算の意味、あまりと除数の関係 ・あまりのあるわり算の計算、作問
	2けたのかけ算	・何十をかける計算 ・(2位数) × (2位数) の計算 (筆算)
	(3けた) × (2けた) のかけ算	・(3位数) × (2位数) の計算 (筆算)
	重さ	・重さの表し方、保存性 ・g・kgとその関係 ・はかりの使い方 ・重さの計算
	箱の形	・箱作り ・面・辺・頂点
	3年のまとめ	・算数カレンダー作り ・数と計算・はかり方・形・表、グラフ

《評価の観点》

《算数への関心・意欲・態度》

知識や技能などの有用さ及び数量や図形の性質や関係を調べたり筋道を立てて考えたりすることのよさに気づき、進んで生活に生かそうとする。

《数学的な考え方》

算数的活動を通して、数学的な考え方の基礎を身に付け、事象について見通しをもち筋道を立てて考える。

《数量や図形についての表現・処理》

整数の計算が確実にでき、それを用いるとともに、ものの大きさを測定したり、図形を構成要素に着目して構成したり、資料や表やグラフに表したりする。

《数量や図形についての知識・理解》

数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の計算の意味、量の単位と測定の意味、基本的な図形の意味及び資料の表し方を理解している。



《評価の方法》

- ・活動の様子の観察、発表、ノート、プリント、テストなど
- ・自己評価、相互評価など。

学習方法 (授業の工夫・家庭学習)

- 学習プリントや計算ドリルを使って、内容の定着を図ります。
- ステップアップタイムなどで、繰り返しドリル学習を行います。
- ブロックなどの具体物を用いるなど、算数的活動を通して理解を深めるようにします。
- 見やすい、分かりやすいノートづくりについても適宜指導をしていきます。
- 家庭では、計算の見直しをする習慣をつけるようお願いいたします。

《到達目標》

- (1) 除法についての理解を深め、適切に用いることができるようにする。また、小数及び分数の意味や表し方についての理解を深め、小数及び分数についての加法及び減法の意味を理解し、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにする。さらに、概数について理解し、目的に応じて用いることができるようにする。
- (2) 面積の単位と測定について理解し、図形の面積を求めることができるようにするとともに、角の大きさの単位と測定について理解できるようにする。
- (3) 図形を構成要素及びそれらの位置関係に着目して考察し、平行四辺形やひし形などの平面図形及び直方体などの立体図形について理解できるようにする。
- (4) 数量やその関係を言葉、数、式、図、表、グラフなどに表したり調べたりすることができるようにする。

学習計画(総授業時間数 175時間)

学期	単 元	学 習 内 容
前 期	大きな数 わり算	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大きな数 ・整数のしくみ ・ わり算のきまり ・ 何十, 何百のわり算
	1けたでわるわり算	<ul style="list-style-type: none"> ・ わり算の筆算 ・商が2けたのわり算 ・ (3けた)÷(1けた)の計算 ・ どんな式になるかな ・ 表の整理 ・ しりょうの整理
	しりょうの整理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 角 ・角の大きさ
	角 ふくしゅう1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 角 ・角の大きさ
前 期	2けたでわるわり算 垂直と平行	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2けたでわるわり算 ・ わり算やかけ算のきまり ・ 垂直や平行の意味と性質, かき方
	いろいろな四角形 面積 a, ha	<ul style="list-style-type: none"> ・ 台形・平行四辺形・ひし形の定義, 性質, かき方 ・ 四角形の対角線の性質 ・ 面積 ・長方形と正方形の面積 ・ 面積の単位
後 期	小数 小数(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ はしたの表し方 ・ 小数のしくみ 小数のたし算とひき算 ・ 小数第二位の記数法, 仕組み, 数系列 ・ 小数第二位の加減
	小数のかけ算とわり算 がい数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小数のかけ算とわり算の意味と計算のしかた, ひっ算 ・ がい数
	概算と見積もり ふくしゅう2 折れ線グラフ 部屋の広さベスト3をさがそう	<ul style="list-style-type: none"> ・ がい算 ・ 折れ線グラフ ・ 折れ線グラフのかき方 ・ 折れ線グラフのくふう
	式と計算 計算のきまり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 式と計算 ・ 四則計算の性質 分数 ・ 分数のしくみ ・ 1より大きい分数
	分数 分数(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同値分数, 大小 ・ 同分母分数の加減 ・ 直方体・立方体の定義と性質 ・ 面と面, 辺と辺の垂直と平行 ・ ともなって変わる2つの量
	直方体と立方体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同値分数, 大小 ・ 同分母分数の加減 ・ 直方体・立方体の定義と性質 ・ 面と面, 辺と辺の垂直と平行 ・ ともなって変わる2つの量
ともなって変わる量 そろばん 4年生のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ そろばんの加法と減法 ・ リサイクル ・数と計算 ・ はかり方 ・形 ・ グラフ, 変わり方 	

《評価の観点》

《算数への関心・意欲・態度》

知識や技能などの有用さ及び数量や図形の性質や関係などを調べたり、筋道を立てて考えたりすることの良さに気づき、すすんで生活に生かそうとすることができる。

《考え方》

算数的活動を通して、数学的な考え方の基礎を身につけ、事象について見通しをもち筋道を立てて考えることができる。

《表現・処理》

整数や小数の計算が確実にでき、それらを用いるとともに、図形の面積を求めたり、図形を作図したり、数量の関係を表したり調べたりすることができる。

《知識・理解》

数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、小数や分数の意味と表し方、面積の意味、基本的な図形の意味及び数量の関係の表し方や調べ方を理解することができる。



《評価の方法》

- ・ 活動の様子を観察, 発表, ノート, プリント, テストなど
- ・ 自己評価, 相互評価など。

学習方法(授業の工夫・家庭学習)

学習プリントや計算ドリルを使って, 内容の定着を図ります。

朝学習などで, 繰り返しドリル学習を行います。

算数的操作活動をさせながら理解を深めるようにします。

見やすい, 分かりやすいノートづくりについても適宜指導をしていきます。

家庭では, 計算ドリルは時間を計りながら学習するようにお願いします。

《到達目標》

- (1) 小数及び分数の意味や表し方についての理解を深める。また、小数の乗法及び除法、分数の加法及び減法の意味について理解し、計算のしかたを考え、用いることができるようにする。
- (2) 面積や体積の求め方についての理解を深めるとともに、基本的な平面図形や立体図形についての理解を一層深めることができるようにする。
- (3) 図形を構成要素及びそれらの位置関係に着目して考察し、基本的な平面図形や立体図形についての理解を一層深めることができるようにする。
- (4) 百分率や円グラフを用いるなど、統計的に考察することができるようにするとともに、数量の関係を式で表したり、式をよんだり、その関係を調べたりすることができるようにする。

学習計画（総授業時間数 175時間）

期	単 元	学 習 内 容
前 期	おはじきとりゲーム 小数と整数 小数の位	<ul style="list-style-type: none"> ・並べたおはじきを順番に取り合う ・小数の表し方、小数と整数のしくみ ・偶数と奇数、小数のたし算とひき算 ・中国から伝わった小数の位
	小数のかけ算	<ul style="list-style-type: none"> ・整数×小数、小数×小数の意味と計算のしかた、筆算 ・計算のきまり・小数第二位を含んだ少数の乗法
	単位量当たりの大きさ 復習1	<ul style="list-style-type: none"> ・平均の意味と求め方 ・単位量当たりの大きさの意味と求め方
	小数のわり算	<ul style="list-style-type: none"> ・整数÷小数、小数÷小数の意味と計算のしかた、筆算 ・あまりの処理 ・被除数が小数第二位のある少数の除法
	高さくらべ 比例 図形の角	<ul style="list-style-type: none"> ・小数倍 ・比例の定義、性質 ・三角形や四角形、多角形の内角の和
	体積 図形の合同	<ul style="list-style-type: none"> ・体積の意味と測定 ・体積の単位、単位関係 ・直方体、立方体の体積公式 ・合同の意味、合同な三角形、四角形のかき方
後 期	図形の面積 ひし形、台形の面積	<ul style="list-style-type: none"> ・平行四辺形や三角形の面積の求め方 ・辺の長さとの関係 ・多角形の面積の求め方 ・ひし形や台形の面積の求め方
	分数 仮分数や帯分数の たし算とひき算	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさの等しい分数 ・分数のたし算とひき算 ・分数と小数・整数 ・帯分数のたし算とひき算
	倍数と約数	<ul style="list-style-type: none"> ・倍数・公倍数・最小公倍数の意味と求め方 ・約数・公約数・最大公約数の意味と求め方 ・倍数と約数の関係
	分数（2） 復習2	<ul style="list-style-type: none"> ・通分、倍分、約分 ・異分母分数の加減の意味と計算のしかた
	分数のかけ算とわり算 円 正多角形	<ul style="list-style-type: none"> ・分数×整数、分数÷整数の意味と計算の仕方 ・円周と直径の関係 ・正多角形の辺や角の性質
円周率の歴史 角柱と円柱 割合とグラフ	<ul style="list-style-type: none"> ・円周率の歴史 ・角柱と円柱の構成要素・見取り図・展開図 ・2つの量の割合の意味 ・百分率・比べられる量、もとにする量 ・帯グラフ・円グラフのよみ方、かき方 	

《評価の観点》

《算数への関心・意欲・態度》

算数の学習に興味や関心を持ち、意欲的に取り組み、論理的に考えたりすることのよさに気づき、進んで活用しようとする。

《考え方》

数学的な考え方の基礎を身につけ、論理的に考えたり、発展的、統合的に考えたりする。

《表現・処理》

小数や分数の計算が確実にでき、それらを用いるとともに、図形の面積や体積を求めたり、性質を調べたり、数量の関係などを表したり調べたりする。

《知識・理解》

数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、小数や分数の計算の意味、面積の求め方、基本的な図形の意味や性質及び数量の関係の表し方や調べ方を理解している。



《評価の方法》

学習方法（授業の工夫・家庭学習）

- 学習プリントや計算ドリルを使って、内容の定着を図ります。
- ステップアップタイムで繰り返しドリル学習を行います。
- ブロックなどの具体的な算数的操作活動をさせながら理解を深めるようにします。
- 見やすい、分かりやすいノートづくりについても適宜指導をしていきます。
- 家庭では、計算ドリルは時間を計りながら学習し、答え合わせをするようにお願いします。

《到達目標》

- (1) 分数の加法及び減法についての理解を深め、適切に用いることができるようにするとともに、分数の乗法及び除法の意味について理解し、それらの計算の仕方を考え、適切に用いることができるようにする。
- (2) 体積の意味について理解し、簡単な立体図形の体積を求めることができるようにするとともに、速さの意味などについて理解し、それらを求めることができるようにする。
- (3) 図形を構成要素及びそれらの位置関係に着目して考察し、基本的な立体図形についての理解を深めることができるようにする。
- (4) 比や比例の意味について理解し、数量の関係の考察に関数の考えを用いることができるようにする。

学習計画（総授業時間数 175時間）

学期	単元	学習内容
前期	倍数と約数	・倍数、公倍数、最小公倍数の意味と見つけ方 ・約数、公約数、最大公約数の意味と見つけ方
	積や商の見積もり	・積や商の見積もりの仕方
	分数 いろいろな分数の計算	・分数の大小と通分、約分 ・分数のたし算とひき算 ・計算能力の定着
	いろいろな立体	・直方体・立方体の構成要素、見取り図展開図 ・面や辺の垂直と平行 ・角柱と円柱の構成要素
	単位量当たりの大きさ	・平均の意味 ・単位量あたりの考え ・速さの意味・表し方、道のり・時間の求め方 ・メートル法の仕組み
	文字と式	・文字を使って数量関係を表す ・全部の数を求める ・文字に当てはまる数を求める
	体積	・体積の意味、単位 ・直方体、立方体の求積公式 ・単位の相互関係 ・角柱、円柱の体積の求め方
	分数のかけ算とわり算（1）	・（分数）×（整数）の意味・計算の仕方 ・（分数）÷（整数）の意味・計算の仕方 ・時間の分数表示
後期	分数の掛け算・割り算（2）	・（分数）×（分数）の意味・計算の仕方 ・（分数）÷（分数）の意味・計算の仕方 ・分数の乗除の演算決定 ・逆数の考えを使った分数への適用
	倍と割合	・2つの量の割合 ・100%より大きい割合
	およその面積	・概形のおよその面積
	比	・比の意味 ・等しい比の意味、求め方、簡単な比の求め方 ・比例式を用いた問題解決
	拡大図と縮図	・図形の拡大と縮小 ・拡大図と縮図の書き方
	並べ方と組み合わせ方	・並べ方を考える ・組み合わせ方を考える
	比例	・比例の意味や性質 ・比例のグラフ ・比例の性質を使って ・反比例
	量と単位	単位・メートル法のまとめ
	算数のまとめ	・整数、小数、分数、計算、単位、面積、体積、速さ、図形の特徴、性質、作図、割合、比例、式やグラフ
	算数ワンダーランド	・電卓あそび ・数学の歴史から ・表を使って問題を解く ・きまりをさがす ・ためしてみよう

《評価の観点》

《算数への関心・意欲・態度》

算数の学習に興味や関心を持ち、意欲的に取り組み、論理的に考えたりすることのよさに気づき、進んで活用しようとする。

《考え方》

数学的な考え方の基礎を身につけ、論理的に考えたり、発展的、統合的に考えたりすることができる。

《表現・処理》

分数の計算が確実にでき、それを用いるとともに、立体図形の体積を求めたり、立体図形を構成したり、数量の関係などを表したり調べたりすることができる。

《知識・理解》

数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、分数の計算の意味、体積の求め方、基本的な立体図形の意味及び数量の関係の表し方や調べ方を理解できる。



《評価の方法》

- ・活動の様子を観察、発表、ノート、プリント、テストなど
- ・自己評価、相互評価など。

学習方法（授業の工夫・家庭学習）

- 学習プリントや計算ドリルを使って、内容の定着を図ります。
- T.T（ティームティーチング）により個別の指導もおこないます。
- 具体的な算数的操作活動をさせながら理解を深めるようにします。
- 家庭では、計算ドリルやプリントなど、復習を中心とした学習をしていきます。
- 同時進行で、5年生までの学習内容の定着を図ります。

